

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

1 事務事業の基本情報 <small>☞ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>																				
事務事業名	敬老事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計			款	3	項	1	目	4	事業	5
担当部	保健福祉部	担当課	高齢福祉課	担当係	在宅福祉	係	作成者	秋葉利恵子	内線(電話番号)	4250	シート作成日	H30.10.24	部長決裁日	H30.10.24						
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市高齢者プラン)				根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市敬老祝金の給付に関する条例, 常総市長寿をたたえる事業実施要綱, 常総市金婚ダイヤモンド婚者記念)													

2 事務事業の目的 <small>☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>														
現状課題	敬老事業費の中で、「①常総市長寿をたたえる事業」「②常総市敬老祝金給付」「③常総市金婚及びダイヤモンド婚者記念品の贈呈」を行っている。高齢者人口の増加に伴い対象者も徐々に増加。今後も数年間は対象者が増加する。				誰・何を対象に ①88歳、100歳、市内最高齢者、②77歳、88歳、99歳、③婚姻後50年を経過したご夫妻、婚姻後60年を経過したご夫妻をそれぞれ対象としている。				どのような方法・手順で ①対象者宅を市長等と訪問し本人やその家族に手渡し、②民生委員とおし給付費を本人に手渡し、③対象者宅に職員等が訪問し対象者やその家族に手渡し。				望ましい状態	

3 事務事業の主たる成果指標 <small>☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>													
指標名	単位	目標値	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	申請に基づき対象となる方に誤りなく配付することが重要な事業であり、事業として評価指標をあげるのは困難である。						

4 事務事業の実績 ㊦ <small>☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>																								
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度															
	業務名				業務名				業務名															
	活動量				活動量				活動量															
事務事業を構成する主な業務	① 各事業日程調整(市長等のスケジュール、公用車、人員等)				① 各事業日程調整(市長等のスケジュール、公用車、人員等)				① 各事業日程調整(市長等のスケジュール、公用車、人員等)															
	② 各事業対象者の把握(情報政策課等への依頼)				② 各事業対象者の把握(情報政策課等への依頼)				② 各事業対象者の把握(情報政策課等への依頼)															
	③ 各事業の記念品等の決定・手配				③ 各事業の記念品等の決定・手配				③ 各事業の記念品等の決定・手配															
	④ 各事業対象者への周知・申請受付				④ 各事業対象者への周知・申請受付				④ 各事業対象者への周知・申請受付															
	⑤ 各事業対象者との日程調整				⑤ 各事業対象者との日程調整				⑤ 各事業対象者との日程調整															
	⑥ 各事業記念品等の準備・確認				⑥ 各事業記念品等の準備・確認				⑥ 各事業記念品等の準備・確認															
	⑦ 事業協力団体等との打合せ				⑦ 事業協力団体等との打合せ				⑦ 事業協力団体等との打合せ															
	⑧ 各事業の訪問準備(時間調整・行程表作成等)				⑧ 各事業の訪問準備(時間調整・行程表作成等)				⑧ 各事業の訪問準備(時間調整・行程表作成等)															
	⑨ 各事業実施日に訪問活動				⑨ 各事業実施日に訪問活動				⑨ 各事業実施日に訪問活動															
	⑩ 各事業実施日に不在だった対象者との連絡調整				⑩ 各事業実施日に不在だった対象者との連絡調整				⑩ 各事業実施日に不在だった対象者との連絡調整															
	⑪ 必要に応じて、不在者宅への再訪問				⑪ 必要に応じて、不在者宅への再訪問				⑪ 必要に応じて、不在者宅への再訪問															
	⑫				⑫				⑫															
目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				目標値に対する実績値																
決算額	計	12,508,806 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	12,508,806 円	計	11,569,489 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	11,569,489 円	計	12,017,096 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	12,017,096 円			
	(住民一人あたりの行政コスト)				202.25078 円				(住民一人あたりの行政コスト)				190.25636 円				(住民一人あたりの行政コスト)				198.75781 円			

5 担当者評価 ㊧ <small>☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>													
成果	目標は設定していない	成果内容	毎年9月に入ると、過去の対象者に今年度の対象者が質問をしている姿を各介護予防教室等で見かける。また、事業後に、記念品の中身がどんなものだったと言った話題にもなっている。このような現状から、高齢者には関心の高い事業であると考えられる。										
	問題点	今後、数年間、対象者が増えることから財政的な負担は拡大が見込まれる。											

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨ <small>☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由													
本事業は、高齢者の長寿への励みとなる事業であり、生きがいづくりにも繋がる事業である。しかし、高齢化に伴い対象者の増加も見込まれており、事業に対する財政負担も大きくなってきているのが現状である。これらの課題に対応するためにも、本事業の見直しや対象者等の縮小等も検討する必要がある。													

7 実施計画 ㊩ <small>☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。</small>														
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度					
	【長寿をたたえる事業】				【長寿をたたえる事業(仮)】				【長寿をたたえる事業(仮)】					
	・対象者 ①88歳(米寿)の年度内到達者 ②100歳(百寿)の年度内到達者 ③市内最高齢者(最も長寿の者のみ) ・贈呈する記念品等 ①米寿対象者: 褒状・額・記念品 ②百寿対象者: 褒状・額・記念品 現金30,000円 ③市内最高齢者: 褒状・額・記念品 現金30,000円				・対象者: ①88歳(米寿)の年度内到達者 ②100歳(百寿)の年度内到達者 ③市内最高齢者(年度内最高齢に到達する者全員) ・贈呈する記念品等 ①米寿対象者: 記念品 ②百寿対象者: 国からの褒状を飾るための額(B3サイズ) 記念品(日常生活に使用できるもの) 写真立及び記念写真 ③市内最高齢者: 市からの褒状 褒状を入れる額(A3サイズ) 記念品(日常生活に使用できるもの) 写真立及び記念写真 ・贈呈方法 市長・副市長・職員等が自宅を訪問する。				・対象者: ①88歳(米寿)の年度内到達者 ②100歳(百寿)の年度内到達者 ③市内最高齢者(年度内最高齢に到達する者全員) ・贈呈する記念品等 ①米寿対象者: 記念品 ②百寿対象者: 国からの褒状を飾るための額(B3サイズ) 記念品(日常生活に使用できるもの) 写真立及び記念写真 ③市内最高齢者: 市からの褒状 褒状を入れる額(A3サイズ) 記念品(日常生活に使用できるもの) 写真立及び記念写真・贈呈方法 ・贈呈方法 市長・副市長・職員等が自宅を訪問する。					
【金婚及びダイヤモンド婚記念品の進呈】⇒平成31年度から廃止。 ・対象者・記念品 ①婚姻期間50年に達する夫婦(夫婦の氏名入額) ②婚姻期間60年に達する夫婦(夫婦の氏名入額)														
予算額	歳出	計	12,603 千円		歳出	計	2,100 千円		歳出	計	2,365 千円			
	歳入	特定財源	0 千円		特定財源	千円		特定財源	千円		千円			
		一般財源	12,603 千円		一般財源	2,100 千円		一般財源	2,365 千円		千円			
		計	12,603 千円				計	2,100 千円				計	2,365 千円	

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額から縮小した金額での予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。近隣自治体とも比較しながら、縮小の方向で検討していただきたい。対象者が増加傾向にあるため、記念品や給付金が少額となることはやむを得ないが、真に祝うべき年齢層を格上げし、経費削減に知恵を絞る必要がある。将来的には、休止も視野に入れるべきであると考えられる。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由													
本事業は、敬老の意を表するとともに、高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とするものであるが、平均寿命の延伸など社会環境の変化などを考慮し、事業内容変更の検討を行う必要があると考えられる。													

11 事務事業の改善理由 ㊫ <small>☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。</small>													
事業内容													
①常総市長寿をたたえる事業と②常総市敬老祝金給付事業を統合して実施します。喜寿(77歳)については、平均寿命が男女とも80歳を超えていること、県内44自治体のうち31自治体で喜寿を事業の対象としていないこと等を踏まえ、事業の対象としないこととします。③常総市金婚及びダイヤモンド婚者記念品の贈呈については、県内44自治体のうち38自治体で実施していないことを踏まえ実施しないこととします。													